



2023年1月1日 新成人の祝福

ナザレ館と共に歩み出す南山教会

主任司祭 フィラデルフィ パヴァール

あけましておめでとうございます。

二〇二三年が始まりました。南山教会にとつて、二〇二三年はナザレ館という新たな信徒会館のスタートとなります。

皆さんの多くの祈りと多大なご協力のおかげで、このスタートを迎えられました。

「ナザレ館」という名前に込めた想いについては、今まで何度も説教や月報、また、先日の命名式のときにお話ししてきましたので、皆さんには伝わっていると思います。

改めて、竣工式を前に一言だけ伝えさせていただきます。

先月のクリスマスにベツレヘムの粗末な馬小屋で、母マリア様と父ヨセフ様のもとお生まれになったイエス様が、「ナザレのイエス」と呼ばれた通り、約三十年間、私たちと同じように母マリア様と父ヨセフ様と共に生活されたナザレの地は、まさに聖家族の日々が詰まっています。その日々は、両親の愛、両親への愛、周りの人々への愛で溢れています。私たちの日々をその聖家族の日々に倣い歩んでいけること、もし、悩み迷ったとき、この聖家族のナザレの日々を思い出して倣って生きることができるようになります。

どうぞ、このスタートの今の気持ちを忘れず、南山教会という一つの大きな家族が、聖家族に倣い、聖家族に似た家族となれるよう、一人ひとりが歩んでいきましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
*ゆるしの秘跡は各主日のミサ前に受けられます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

新年のあいさつ

2020年、秋田教会から故郷名古屋の南山教会に転任して3年目になります。今年は、1958年から始まった南山教会の歴史の一コマとして新信徒会館、ナザレ館が建築されました。信徒の皆さんの交流の場、福音宣教の場がより広がりました。建築に際して、神様、信徒の皆さんに感謝いたします。私たち南山教会信徒の一人一人がキリストの弟子として力強く歩んでいくことができるようにお祈りいたします。

助任司祭 伴 八郎

皆さま、すべての信徒の皆様に年頭にあたりご挨拶申し上げます。皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまとご家族・ご友人お一人お一人の2023年のご健勝と喜びを互いに多くの人々と分かち合うことができますように、聖母マリア様の取次ぎをお祈りしています。困難な時期にあります。私には常に皆様と共にあり、皆様と同じように神様の御声、御旨に従い犠牲を捧げたいと思っています。私たちの教会の保護の聖人である…聖十字架、聖なる十字架の神秘を思い起こし、心を開き、力づけられ、あなたの死と復活を人々に伝えていくことが

できますように。

助任司祭

ヨハネ・トラシナム・フォン

初聖体

フランシスコ井爪 奏

僕は教会から遠いところに住んでいるためなかなか勉強ができなく初聖体をうけることができませんでした。でも神父様のおかげで勉強をして初聖体をうけることができました。

勉強をして神父様からいろいろなことをまなびそして自分の心が迷ったり何か困ったりしたときどうすればいいのかを学びました。そして自分が相手をゆるすことが大事だと教わりました。教会に行ったり聖体拝領をうけたりすることとそれのことを忘れずにいられるということを学びました。

今回初聖体をうけ自分が困ったときや迷ったときの心の支えができたように感じました。また家族と一緒にいることができたかと思いましたが、そして初聖体をうけたことで今まで教会や聖体拝領の役割がわからなかったけど少しわかったように思いました。今回神父様が協力してくださったおかげで初聖体をうけることができてよかったです。



新成人

松原 優芽 さん(右)
薫 愛佳 さん(左)



ナザレ館命名式

12月30日



ナザレ館の「聖家族」の聖画

司祭ジエブーラ・エウゲニウス

(神言会)

南山教会の古いカトリック会館の代りに温かさの感じられる木造の素敵な建物が建てられました。その建築工事が始まった時から主任司祭のフィラデルフィー・パウロ師が、この建物に相応しい名称を考えていたことを思い出します。神を父と仰ぐキリスト者の

共同体は、互いに家族のような関係になることが理想であるから、青少年を神の子供として育てる役割を演じるこの新しい建物は、少年イエス・キリストがお育ちになった町、ナザレを意識して、「ナザレ館」と名付けることにし、聖家族の御保護に委ねるようになりました。

キリスト教芸術の専門家である神言会ハウスのファウゾネ師より聖家族のナザレでの生活を反映する聖画を設置した方が良いとのアドヴァイスをいただき、主任司祭と共に私にこのアドヴァイスについて相談したうえ、油絵を私の姉(ブリチエク・テレサ)に依頼することになりました。

工事の進行状況に合わせて新築の竣工祝福式を2023年1月22日(日)に行う予定となりましたが、「ナザレ館」は、聖家族に捧げられていますので「聖家族の祝日」(2022年12月30日)の御ミサの中で命名式と聖家族の聖画を祝別することを、当時管区長であった私が依頼を受けました。教会の信仰養成を意識して描かれた聖家族の御絵は何を表現しているかについて説教の中で触れさせていただきまし

た。改めてここで聖画のメッセージを簡単に紹介したいと思います。

聖画の中で登場する聖家族のメンバー、少年イエス・キリスト、聖マリアと聖ヨセフの3人は人生の三つの世界を代表します。中央には神の世界が紹

介され、神の子である少年イエス・キリストが聖霊に照らされて神の言葉の写本を手に受け持つ姿が描かれています。左側には聖母マリアの世界があり、家事に関係する道具や器などが置いてあり、聖母は良い母親として子育てに最も重要な神の教えを提供し、聖書の写本をイエス様の前に開きます。第3の世界は、聖ヨセフによって代表されています。大工の匠である聖ヨセフが社会の中で成功して名譽なことを目指すのではなく、父親の役目を慎重に受け止めて、育てている御子に正面を向かせ、聖家族の生活を維持して見守る姿が見られます。その三つの世界は家族の愛によつて結ばれて一つの家庭生活を作り上げています。

聖家族の3人の視線は聖書の写本に焦点を合わせ、聖霊の光も同じ方向に射し照らします。イエス様は写本にある御言葉を指し示して、預言さ

れている救いの営みが御自分の内に実現することを確認しているかのような様子が見られます。聖母マリアの傍にある器が清めに用いられ、その上に描かれていくぶどうの木は、最後の晩餐の時に「私はぶどうの木である」というキリストの言葉を思い起こさせます。それらは、洗礼による罪からの清めと主の過越の神秘による世の救いのシンボルでもあります。また、キリストを中心にした聖ヨセフの大工としての働

きは神の国の建設の象徴にもなります。

このようにして、この聖画が紹介する聖家族は私たちの家族のために模範となります。私たちも家事をしていても、社会の中で仕事を行っていても、神のみ言葉とキリストを中心にして生活を送れば、教会の中で神の救いの営みに参与することができるとのメッセージがあります。また、家庭の中で生れる子供が神からの宝であることを認め、養育にあたり、神の道を歩むように聖書の教えを中心にする大切さを促し、子供たちが自己実現に向けて成長するように尽くすこととして、聖家族を反映する家族ともなれます。



12月30日

名古屋教区設立100周年の教区聖年
(2022~2023)巡礼記 Vol.2

「岐阜教会」 二宮教会

(2022年10月10日)

―青春巡礼記― 森 直樹

一週間前に北陸の教会の巡礼を終え、今回は私が8〜15歳まで過ごした岐阜、15〜19歳まで過ごした一宮の巡礼教会を訪れることにした。

北陸とは違い土地勘がある為、ほとんど準備することなく出かけ、問題なく終えることができた。

【岐阜教会】

電話にて連絡し、15時〜18時まで入り口のカギを開けておいていただけたので、誰もいない聖堂にて祈りを始めたが、思いがけず助任神父様が照明をつけに出てきてくれた為、岐阜教会についてお話を聞くことが出来た。

この地は戦国時代に織田信長が岐阜と命名し拠点とし、城下町を築いた際、宣教師ルイスフロイスに岐阜での宣教を許したためキリスト教が広まったこと、近代では1926年より布教が始まり、翌年長崎の浦上の信者の方々が建設に携わり、立派な聖堂が建てられた歴史について学び、黙想した。



【一宮教会】

聖堂前の駐車場に殉教の脾があり、この地にも迫害があり、殉教された方の存在を再認識した。そのうちのお一人が私を通った中学校の近くに住み、熱心に宣教活動をされていた方だと知り感銘を受けた。この地にて宣教し、殉教された方々の事を黙想した。

巡礼終了後に神父様に会うことが出来、お話をすることができた。

当時両教会の近くに在住していたが、そこに教会があることすら知らなかった8〜19才の自分を思い起こしながら帰途についた。



今巡礼で両教会の歴史、聖性の一端を感じ、身近なところにイエスの足跡があることを知った。さらに帰宅後、いただいた資料にて26聖人の内5名が尾張出身であることを知った。

これまで7か所の巡礼を終え、足を運ぶことの大切さを学びました。

情報はネットや電話で知れるが、足を運ばなければ本当の意味で知ることが出来ないことがあると感じました。



子ども部屋
クリスマス会
12月18日



教会学校
クリスマス劇
12月18日



第5回小教区宣教司牧評議會

報告・連絡事項

1月8日

1. ナザレ館建築の進捗状況・教設備について

営繕委員長

建物は完成しました。あと、家具なども搬入済みです。現在、外構工事中です。交差点の角の工事中です。

12月21日に行政機関の建築の完了検査を行いました。

主任司祭による竣工検査も終わりました。

23日に設備の説明会を行いました。

25日に見学会を行いました。

30日に前管区長のジェブーラ神父様に命名式を行っていただきました。

聖家族の絵がメインスペースの壁面に掛けられました。(ジェブーラ神父のお姉さまの作品)

1月6日に通信外部工事がありました。

10日・13日に引越しの作業をします。

12日に電話設備の入れ替えがあり一定時間電話がつながりなくなります。

13日にダルクの方々が重量物を運んでいただけます。

事務所引越しに売店の細かな

商品在庫を運んでいただくためにお手伝いを募集しております。

22日に竣工式を行います。

外構と植栽については別予算となっており、当初の予算は160万円でしたが交渉などにより税込132万円の見積もりが出ております。

斜面の土が流れないようにクリーピングタイムという植物を植えます。樹木も室外機を隠すのとし垣の役割で植えます。大きな木も9本植えます。現在土の部分は芝生を植えます。後でご承認をお願いいたします。承認後に工事日を調整します。

結婚式の案内を設置する場所を検討します。

法律改正対応のため大聖堂とマリア館ホールのハンドマイク及びピンマイクの一部と受信機を更新しました。

2. 御降誕祭ミサについて

信徒代表 ヨセフ会会長

マリア会会長 ご奉仕担当者

24日は一部予約制にて以下の参加人数により御降誕祭ミサが行われました。

(16時・123名 18時・111名 20時・121名 22時・88名 計443名(各種奉仕者を除く))

ご希望された方皆様がミサに与

ることが出来たと思います。

予約制での御降誕祭ミサは3回目となり上手くいったと思います。

マリア会による受付も肅々と執り行われました。スムーズに問題なくできました。

3. 教区ニュースの音声CDの配布について

ニュースAJU声の文庫

南山教会事務所にて希望する方に教区ニュースの音声CDを配布しています。

必要な方はお申し出ください。皆様からお声がけをしてください。無償で配布されます。

審議・相談事項

1. ナザレ館竣工式について

前回決定事項は以下の通りです。

1月22(日)に開催します。9時半ミサを日英合同ミサとして席を増やし、11時ミサは中止する予定です。竣工式は中庭で30分程度

を予定し、雨天の場合は聖堂にて行います。当日は椅子と机の準備がありますので、ヨセフ会の皆様含めご協力をお願いします。

竣工式で歌を歌います。教会学校と中高生会の皆様にご協力をお願いします。

記念品を用意しますが、無償配布は無しにして販売する商品を検討しています。

今評議会にて役割分担などの最終確認を行います。

配布資料に基づき説明がされました。記念品のマグカップについて無料配布ではなく販売ということで決定しました。在庫は200個です。価格は税抜き1000円の予定です。

レイアウトと音響は司祭団が担当します。

椅子や机の準備はヨセフ会で行います。30分程度の式となる予定です。

主任司祭から会場のレイアウトの説明がされました。

当日11時のミサは中止となります。

2. 聖週間・復活祭ミサについて

昨年通り完全予約制にて参加希望者を募り抽選を行う場合2月から準備が必要です。

今評議会での様に行うか審議いたしました。

今年は完全予約制では無く大聖堂の定員(人数制限)を設けて、入れない方はマリア館ホールでパ

ブリックビューイングにてミサに参加できる様、検討中です。その場合も聖体拝領に与かることが出来るよう配慮されます。

3. 今後のコロナ対策について

①前回の決定事項に基づき以下の内容で行っています。

・マスク着用・検温・記名の対策を継続。

・11時のミサは、復活の主日から中止する方向で検討。

・大聖堂の席は、機械換気を行いすべての列を使い前後が重ならないように席を配置し、御降誕祭ミサ前より実施。

・奉納行列、入堂の行列はまず9時30分のミサのみ待降節の第一主日(11月27日)から再開。

②記名について中止してはどうかとのご意見をいただいております。当初感染ルート特定の必要性から不特定多数の参加する会合では記名は必修でしたが、現在事情が変化していますので記名の必要性について再検討いたしました。時期を見て中止いたします。

現状、主日のミサを午前中に3回行っております。復活祭以降には、2回に戻す際に均等に参加人数が分かれるように時間を調整したほうが良いのでアンケートを取り検討する必要があります。

席の間隔について、着座可能な席がわかる様、掲示を検討しています。

4. 社会委員会新設について

松浦司教様より、小教区に社会委員会を作るように指導がありました。社会委員会新設について審議いたしました。

2016年発行の「小教区における社会委員会設置について」が配布されて説明がされました。

新型コロナウイルスで先送りとなっておりました。南山教会に関しては各個人の活動が既に社会委員会が求める役割をこなしております。

南山教会に社会委員会を設置することが承認されました。

委員長として神戸氏が1年の任期で務めることが承認されました。

5. 外構植栽の追加工事について

見積書に基づき説明がされ承認されました。

6. 事務所の引越しをお手伝いの募集について

1月10日から13日の間でご奉仕いただける方は事務所までお申し出ください。

重いものはダルクの方に運んでいただきます。軽いものの運搬と

清掃などの作業をお願いします。朝の9時から作業は行っておりますが都合の良い時間にご奉仕いただければ幸いです。

7. 2023年度予算について

配布資料に基づき説明がされ、承認がされました。

8. その他

典礼委員会より、コロナ渦で「心の中で祈る」に慣れてしまっただけでもあります。現在は、声を出すことは大丈夫です。積極的にミサに参加しましょう。テキストをお持ちでない方は売店でご準備ください。

各会報告

・典礼委員会

タペストリーを新調しました。紫色(待降節用)と赤色。ご協力くださった皆様、ありがとうございます。

1月22日 9時30分 ナザレ館竣工記念ミサ(松浦司教)

※ミサに続いて竣工式が行われるため11時のミサはありません。

2月2日(水) 主の奉献 7時・10時にミサがあります。

2月12日(日) 9時30分 堅信式(松浦司教)

※前日14時からリハーサル
2月22日(水) 灰の水曜日 7

時・10時 19時
十字架の道行 四旬節中 毎週金曜日 15時
2月26日(日) 9時30分ミサで洗礼志願式

◇毎月4回目の主日のミサにはニケアを唱えます。

・要約筆記の会

要約筆記つきのミサ
1月22日(日) 9時30分ミサ
1月28日(土) 17時ミサ(定例)

次回 2月5日



名誉教皇ベネディクト十六世

逝去 十二月三十一日

今朝わたしたちのもとを去られた、親愛なる名誉教皇ベネディクト十六世のことを、今は無意識のうちに考えてしまっています。気高く、とても親切な名誉教皇を思い出し、わたしたちのこころは動かされます。そして、こころにとっても大きな感謝を感じます。それは、教会と世界に名誉教皇を与えてくださった神への感謝であり、名誉教皇が成し遂げられたすべての善、とりわけ、信仰と祈りのあかし、特に最後の穏やかな日々での、そのあかしへの感謝です。名誉教皇の取り次ぎと教会の善のために払われた犠牲の価値と力は、神だけがご存じです。

教皇フランシスコ

愛である神よ、
世界のカトリック教会の牧者としてその使命を全うし、
みもとに召された名誉教皇ベネディクト十六世の働きとその
労苦を顧み、
永遠のいのちの喜びで満たしてください。
アーメン

信者の消息

転入

ようこそ

ベルナデッタ 浅井 奈緒美 (膳棚教会)
パウロ 西尾 克彦 (平針教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

トマス・モア 工藤 信 (51歳)
アシジのフランシスコ 小川 成二 (81歳)



維持費納入について

維持費の袋は教会事務所にて保管しております。事務所にてご納入下さるか、以下の口座にお振込み頂くこともできます。よろしければご利用下さい。

○三菱UFJ銀行八事支店 普通預金 17
37813カトリック南山教会 維持費口
○郵便口座 00880-8-70893
カトリック南山教会

2023年1月・2月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
1月	1(日)神の母聖マリ ア・世界平和祈 願日 8(日)主の公現 9(月)主の洗礼	1(日)11:00新成人の祝福 管区に予算書提出 22(日)ナザレ館竣工式	7(土)典礼委員会 8(日)南山小教区宣教司牧評議 会、教会学校・中高生会 始業式 13(金)マリア会例会(懇談 会) 21(土)子ども部屋 22(日)ヨセフ会・班長会、 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)世界平和の日 21(土)レジオマリエ 名古屋クリア 18(水)~25(水) キリスト教一 致祈禱週間 22(日)新成人を祝う 新年の集い 29(日)世界こども助け 合いの日(献金)
2月	2(木)主の奉献 22(水)灰の水曜日 (大斎・小斎) 26(日)四旬節第一主日	12(日)9:30堅信式 22(水)灰の水曜日ミサ (7:00、10:00、19:00) 26(日)洗礼志願式	3(金)マリア会例会(懇談会) 4(土)典礼委員会 5(日)運営委員会 12(日)ヨセフ会班長会・教会周 辺清掃 18(土)子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ	4(土)殉教者祭(栄國 寺)(高山右近) 5(日)宣教司牧評議会 18(土)レジオマリエ 名古屋クリア 22(水)~四旬節愛の献 金(四旬節中)